

平成 2 8 年度支部行事業務報告

(1) 4月3日～4日 長崎県コンテストについて

- ① 4/3(土)20:00～24:00 及び 4/4 (日)06:00～12:00 まで実施。
- ② ログ提出局

	電子ログ	紙ログ	合計	昨年
県内局	23	0	23	19
県外局	133	18	151	140
合計	156	18	174	159

(2) 4月17日(日) 登録クラブ代表者・支部役員・監査指導委員合同会議について

10:00 から 12:00 まで諫早市つくば倶楽部において開催しました。会議の内容は次のとおりです。

- ① 支部長から 27 年度支部事業報告及び決算報告、28 年度の支部予算並びに事業計画についての報告。
- ② 立石監査指導委員長から監査指導報告。
- ③ 松田長崎県赤十字無線奉仕団委員長から今回の熊本地震の救護活動報告がありました。

日赤長崎県支部は先日 4 月 14 日 21 時 26 分 (JST) 頃に熊本で発生した地震を受け、救護班を派遣することに決定。翌日深夜松田 OM と酒井 OM は長崎原爆病院と諫早原爆病院で構成する救護班とともに参加され、今日の深夜 0 時過ぎ帰ってこられたところです。現地では通信指令車で日赤熊本病院と避難所の益城総合体育館との連絡に従事され、また、日赤長崎県支部には Wires X で状況を逐次連絡してこられました。日頃の通信訓練の成果を遺憾なく発揮され、改めて Wires の有効性を認識することが出来ました。

被災地の状況として 16 日深夜の本震後では道路の陥没や家屋の倒壊が至る所にあり、周りの状況が前日と一変するほどの惨状だったとのことでした。

松田 OM、酒井 OM お疲れ様でした。

- ④ 依頼顧問から四方山話として
 - ア、無線従事者及び J A R L 会員の推移。
 - イ、スプリアスについて
 - ウ、最近の電波行政として地域コミュニティ無線システムについて
 - エ、宇宙通信に勤務されていたころの話で日本の通信衛星や放送衛星について

(3) 各総合防災訓練の中止について

5 月 8 日予定諫早市総合防災訓練及び 5 月 18 日予定長崎県・長崎市・時津町・長与町総合防災訓練は、熊本地震の発災により中止となった。

(4) 7 月 2 4 日(日)第 3 0 回長崎県非常通信訓練コンテストについて

- ① 0900～1200 まで実施した。
- ② 今回はログ提出局 25、未提出局 30、総参加局 55 局。
- ③ 昨年はログの提出局が 15、未提出局が 32、総参加局が 47 であった。

(5) 8 月 5 日(金) 第 1 4 回長崎県非常通信訓練について

- ① 19:30～20:30 頃まで五家原レピータ JP6YER と WiRES を使って実施した。
- ② 19:30 から JA6EIM 局を宰領局として五家原レピータ JP6YER がスタート。参加局数は 20 局で長崎市、新上五島町、雲仙市、島原市、佐世保市、平戸市、大村市、

- 諫早市からチェックインがあった。
- ③ WiRES の方は 20:00 から JH6MGY 局を率領局としてスタート。こちらの方は参加局 14 局で長崎市、佐世保市、雲仙市、大村市、諫早市、対馬市からのチェックインがあった。
- (6) 9月4日(日)子どもラジオ教室(第1回)について
10:00~12:00 まで長崎市科学館において長崎県電波適正利用推進員協議会との共催で、JARD から提供された AM・FM ラジオを製作した。
- (7) 10月22日(土)、23日(日)第20回青少年のための科学の祭典について
長崎市科学館で開催された標記大会に JARL 長崎県支部は「楽しいアマチュア無線の世界」というブースを出展しました。ブースではモールス符号で遊ぶコーナー、モバイルの SSTV 装置で各ブースの状況を実況放映、長崎市科学館アマチュア無線クラブ JF6ZSK の公開運用などを行いました。モールス符号を正しく打つとパソコンに文字が表示されるセットは大人気でした。来館者数の主催者発表では約 9,100 人でした。
- (8) 11月5日(土)子どもラジオ教室(第2回)について
佐世保市で子どもラジオ教室を開催し、19 人の子どもが参加しました。19 人を 5 班に分け、それぞれに指導員 1 人を割り当てて、半田付けの練習からスタートしました。方眼基盤に銅線でブリッジを作るものです。その後スピーカーから音が出るラジオの製作にかかり、2 時間ほどで全員が完成しました。「鳴らない」という人が数人いましたが、IC と Tr を取り違えて半田付けしたもの、半田付け不良が原因でした。講師として岡村佐世保地区幹事を始め佐世保地区ハム協議会の各局の協力のもと全員が完成し、子どもたちは大喜びで持ち帰りました。
- (9) 11月20日(日)アマチュア無線の祭典(ハムの集い)について
①長崎市油木町の長崎市科学館において 10:00 から 15:00 まで「アマチュア無線の祭典(ハムの集い)」を開催しました。長崎市近郊はもとより、県内各地から延べ約 250 人の参加がありました。
②展示は 13 の団体・個人の出展があり、CW、SSTV、WIRES-X、のデモンストレーション、その他自作機器の展示やジャンク市などで賑わいました。
③午前中は各クラブの活動報告があり、午後からは JA6EH 島本滝二郎氏による「長波・中波帯の楽しみ」と題する興味深い講演がありました。JARL 長崎県支部からは JARL 永年継続会員の表彰、第 30 回長崎県非常通信訓練コンテスト表彰を行うとともに、青少年のためお試し入会キャンペーンと催事限定入会金免除キャンペーンを実施しました。
- (10) 12月18日(日)SSTV 技術研修について
①三菱記念会館において SSTV 技術研修を行い、25 人の参加がありました。
②研修の内容は SSTV 未経験者を対象とした初級レベルで、SSTV アプリケーションソフトのインストールの方法、SSTV 用インターフェイスの紹介、モバイル用 SSTV 伝送装置の紹介などが行われました。
③研修の準備及び説明に当たられました SSTV 長崎の皆様には感謝申し上げます。また、当日した研修資料は長崎県支部 HP に掲載しています。

(1 1) 1 2 月 2 3 日 (金) 子どもラジオ教室(第 3 回) について

10:00~12:00 まで大村市中地区公民館においてスピーカーの鳴る I C + 1 石トランジスタのラジオを製作した。参加者 24 名。

(1 2) 特別記念局 8J6HAM の運用について

次の日程で運用を行った。

12 月 24 日~26 日 長崎地区

12 月 27 日 諫早地区

12 月 28 日 長崎地区

12 月 29 日~31 日 大村地区

延べ交信局数 1, 1 2 4 局 (うち海外局 1 0 局)

(1 3) 2 9 年 2 月 1 9 日 (日) ハムのセミナーについて

①長崎市稲佐町の三菱記念会館でハムのセミナーを開催し、パソコンとリグを接続して CW、SSTV、RTTY、PSK、JT65HF 等の運用を行うときに必要となるインターフェイス回路作製のノウハウの勉強会を行いました。

②また、インターフェイス回路が不要で USB ケーブル 1 本で接続できるリグも紹介されました。

③講師は SSTV 長崎の OM が担当し、プロジェクタや印刷資料ばかりでなく、リグ、自作作品、使用パーツ、インターフェイス既製品等の現物も展示され、分かりやすいセミナーでした。

④また、関東総合通信局三浦電波監視センター発行の JT-65 オフバンド送信注意喚起パンフレットを配布しました。

⑤このセミナーで使用した資料は、JARL 長崎県支部 HP に掲載しています。

【平成28年度長崎県支部費収支報告】

科 目		当期予算額	決算額
収入	支 部 費	170,000	170,000
	前期繰り越し額	10,647	10,647
	預金利息		4
	合 計	180,647	180,651
支 出	会 議 費	8,000	5,610
	催 物 費	121,000	78,419
	渉 外 費	1,000	0
	通 信 費	5,000	9,825
	交 通 費	5,000	10,280
	消 耗 品 費	2,000	848
	事務印刷費	4,000	258
	コンテスト費	7,000	9,251
	賞 典 費	17,000	16,598
	予 備 費	10,647	0
	小 計	180,647	131,089
	次年度繰越額		49,562
	合 計	180,647	180,651

【平成28年度長崎県支部事業報告】

年	月	日	曜	行事名称	記事
28	4	2	土	長崎県コンテスト	
		3	日		
	4	17	日	登録クラブ代表者・支部役員・監査指導委員合同会議	諫早つくば倶楽部
	7	24	日	第30回長崎県非常通信訓練コンテスト	
	8	5	金	第14回長崎県非常通信訓練	
	9	4	日	子どもラジオ教室(第1回)	長崎市科学館
	10	22	土	青少年科学の祭典2016第20回大会	長崎市科学館
		23	日		
	11	5	土	子どもラジオ教室(第2回)	佐世保少年科学館
	11	20	日	アマチュア無線の祭典(ハムの集い)	長崎市科学館
12	18	日	SSTV技術研修	三菱記念会館	
12	23	金	子どもラジオ教室(第3回)	大村市中地区公民館	
29	2	19	日	ハムのセミナー	三菱記念会館

【平成29年度長崎県支部費予算】

科 目		当期予算額	決算額
収入	支 部 費	171,000	
	前期繰り越し額	49,562	
	預金利息		
	合 計	220,562	
支 出	会 議 費	8,000	
	催 物 費	94,000	
	渉 外 費	1,000	
	通 信 費	10,000	
	交 通 費	25,000	
	消 耗 品 費	2,000	
	事務印刷費	4,000	
	コンテスト費	10,000	
	賞 典 費	17,000	
	予 備 費	49,562	
	小 計	220,562	
	次年度繰越額		
	合 計	220,562	

【平成29年度長崎県支部事業計画】

年	月	日	曜	行事名称	記事
29	4	1	土	長崎県コンテスト	
		2	日		
	4	16	日	登録クラブ代表者・支部役員・監査指導委員合同会議	諫早つくば倶楽部
	5	14	日	平成29年度本明川総合水防演習	本明川河川敷
	5	23	火	長崎市総合防災訓練	琴海北部公園
	6	3	土	長崎県総合防災訓練	五島市下大津町
	7	23	日	第31回長崎県非常通信訓練コンテスト	
	8	4	金	第15回長崎県非常通信訓練	
		未定		子どもラジオ教室(第1回)	長崎市科学館
		未定		子どもラジオ教室(第2回)	
		未定		子どもラジオ教室(第3回)	
	10	21	土	青少年科学の祭典2017第21回大会	長崎市科学館
		22	日		
	11	19	日	アマチュア無線の祭典(ハムの集い)	長崎市科学館
12	17	日	ハムのセミナー(第1回)	三菱記念会館	
30	2	18	日	ハムのセミナー(第2回)	三菱記念会館